

会 議 録

会議の名称	第 5 回 茨木市水道・下水道事業審議会
開催日時	平成 2 8 年 2 月 2 5 日（木） 午後 3 時開会 午後 4 時閉会
開催場所	茨木市役所 本館 6 階第 1 会議室
出席者	○委員（5 名）※順不同、敬称略 仲上健一委員、岡崎利美委員、仲猛夫委員、佐名川玲子委員、 鹿田圭二委員
欠席者	○神宮誠委員、樫本佳子委員
傍聴者	○なし
事務局出席者	○職員（7 人） 大塚副市長、上田建設部長、中井建設部次長兼下水道総務課長、 古谷下水道施設課長、松澤総務係長、寺田経理係長、関本職員
議題（議事）	(1) 答申（案）について (2) その他
配布資料	・ 答申（案） ・ 下水道等事業 財政計画

議事の経過	
発言者	議事（案件）・発言内容・決定事項等
（開会）	（挨拶） 【答申について】
A 委員	答申の文章で分かりにくい表現、誤り等があれば意見してほしい。なお下水道事業で使用する言葉が難しいので用語集を用意している。
B 委員	下水道の活用は企業活動そのものに必ずしも必要とは限らない。文章において、健全な事業活動という記載にしないといけないのでは。
A 委員	前の文章に記載している、公共水域の水質保全という言葉と繋げれば意味が通じる。
B 委員	そうすれば意味が通じると思う。
C 委員	よくまとめられているのでこれでいい。
D 委員	収入の面で、平成 32 年にピークを迎えるのは収入か人口か。
事務局	平成 32 年にピークを迎えるのは人口である。
A 委員	下水道事業の施設整備と経営状況について、施設整備事業については行う事業全体のうちの進捗状況を記している。
E 委員	全体のなかでどれだけの事業が実施されているかが分かるよう表記されている。
A 委員	文章中で赤字という言葉は何度か使っているが、行政として赤字、黒字という言葉を使用することはあるのか。
事務局	行政として赤字ではなく支出超過と表現する。
B 委員	一見赤字ではないが、収支として、実質的な赤字とすればいい。
A 委員	赤字という意味を持つのでそのとおりである。制度上、決算で赤字にできないためである。

E 委員	赤字という言葉自体が危機感を抱かせるイメージを持つので、分かりやすい。
A 委員	次の段落について、経営課題と実施してきた対応について記載しているが、意見はないか。
B 委員	繰入金に関する文章の主体が分かりにくい。
事務局	繰入金に関する対応については、下水道事業から一般会計に依頼している。
A 委員	使用料の方向性のところで社会的弱者や独居老人についての記載は、水は生活から切り離せないもので以前から問題になっている事象であるため、行政の配慮が欠かせないことを文中に示している。
D 委員	基本使用料は、家庭用と企業用とで金額が異なっていることはないのか。
事務局	基本使用料は個人、企業と関係なく 1 つのメーターあたり 440 円である。
E 委員	算定した金額が 965 円とあるが、本来これだけの金額に設定しなければいけないということなのか。
事務局	基本使用料を設定する上での上限額である。
B 委員	答申の結論の中で、使用料単価について細かく言及しなくていいのか。
A 委員	要点は、10 年後、20 年後にも持続して下水道事業が成り立つことであり、そのためにシミュレーションが行われている。審議会は経営の方向性を示すのを目標とし、それを具体化する役割は行政が担うので、詳細の記載は必要ないのでは。
B 委員	それを“適正に事業運営を行うよう努める”という文章で示しているということか。

A委員	前回からの期間にも茨木市の状況が変わり、収支の予測が新たに立て直されている。このように短い期間で数字が変わるため、根拠がない状態で経営に関わる数字を答申で明記できない。
B委員	審議会の答申の上できっちり言うべきことを示さないといけないと思っているが、その点については了解した。
D委員	使用している用語で同様の意味を持つものは統一する方がいい。
A委員	基本的には本日の意見を参考にして答申を完成させていくこととする。答申の日程について連絡はあるか。
事務局	答申の日程は、3月30日を予定している。